

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 1	0	百日咳	↗ 2	0
RSウイルス感染症	↗ 66	15	ヘルパンギーナ	↗ 65	42
咽頭結膜熱	→ 13	13	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 2	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 37	44	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 295	265	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 7	6
水痘	↗ 51	29	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 97	87	無菌性髄膜炎	↘ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	↘ 1	2
突発性発しん	↘ 40	48	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- RSウイルス感染症

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

ヘルパンギーナ : 天草

手足口病 : 人吉、有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

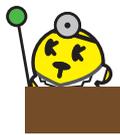
保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所		12	2	9	36	18	25		11		8			5						
山鹿保健所			1		22	4	2		1		1		*	*						
菊池保健所		14	2	11	70	9	10		6	1	18	2		1						
阿蘇保健所													*	*						
御船保健所					4	1							*	*						
八代保健所		5	2	1	30	2	2		5		10									
水俣保健所				2	4		1		2		1		*	*						
人吉保健所			2	2	21		15		1	1	1		*	*						
有明保健所		26	1	2	74	13	21		7		5									
宇城保健所	1	5	2	7	28	3	6		3		8		*	*						
天草保健所		4	1	3	6	1	15		4		13			1			1			
計	1	66	13	37	295	51	97		40	2	65	2	0	7	0	0	1	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	1														1							
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	66	8	14	27	13	2	2															
咽頭結膜熱	13		2	5	1	2	1	2														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37			1	2	3	2	7	6	2	5	2	4	2	1							
感染性胃腸炎	295	8	39	49	42	23	20	19	19	12	8	7	35	3	11							
水痘	51	2	4	7	11	12	8	3		1		1	1		1							
手足口病	97	1	9	35	26	10	6	1	2	2	2		1		2							
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	40	1	21	16	1	1																
百日咳	2												1	1								
ヘルパンギーナ	65		8	23	9	9	5	5	4		1	1										
流行性耳下腺炎	2			1		1																
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	7		1						1						1	1				2	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	1															1						
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																					

**RSウイルス感染症 注意しましょう**

今週、RSウイルス感染症が増加しました。  
RSウイルス感染症は、冬季に流行する呼吸器感染症ですが、近年はこの時期から流行が見られています。  
RSウイルス感染症は、乳児が感染する感染症で、最初の一年間で、50~70%以上の新生児が感染し、3歳までにすべての小児が感染すると言われています。  
今週の報告でも、2歳以下からの報告がほとんど(約94%)です。乳幼児のいる家庭では特に注意しましょう。



**感染経路**  
ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染

**症状**  
鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。

**予防方法**

- ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない
- ・症状のある家族はマスクをする
- ・外出後の手洗いをきちんと行う